

みんなで学ぶ森林の生物多様性
地域のもりから学ぶ森林づくり

「空中と地上から森林の生物多様性を学ぶ」 大人版 森林教室



定山溪国有林



ミズナラ

場所 定山溪国有林「水源の森」地域

日時 2010年7月5日 月曜日

林野庁 北海道森林管理局 石狩地域森林環境保全ふれあいセンター

〒064-0809 札幌市中央区南9条西23丁目1-10

Tel:011-533-6741 Fax:011-533-6743

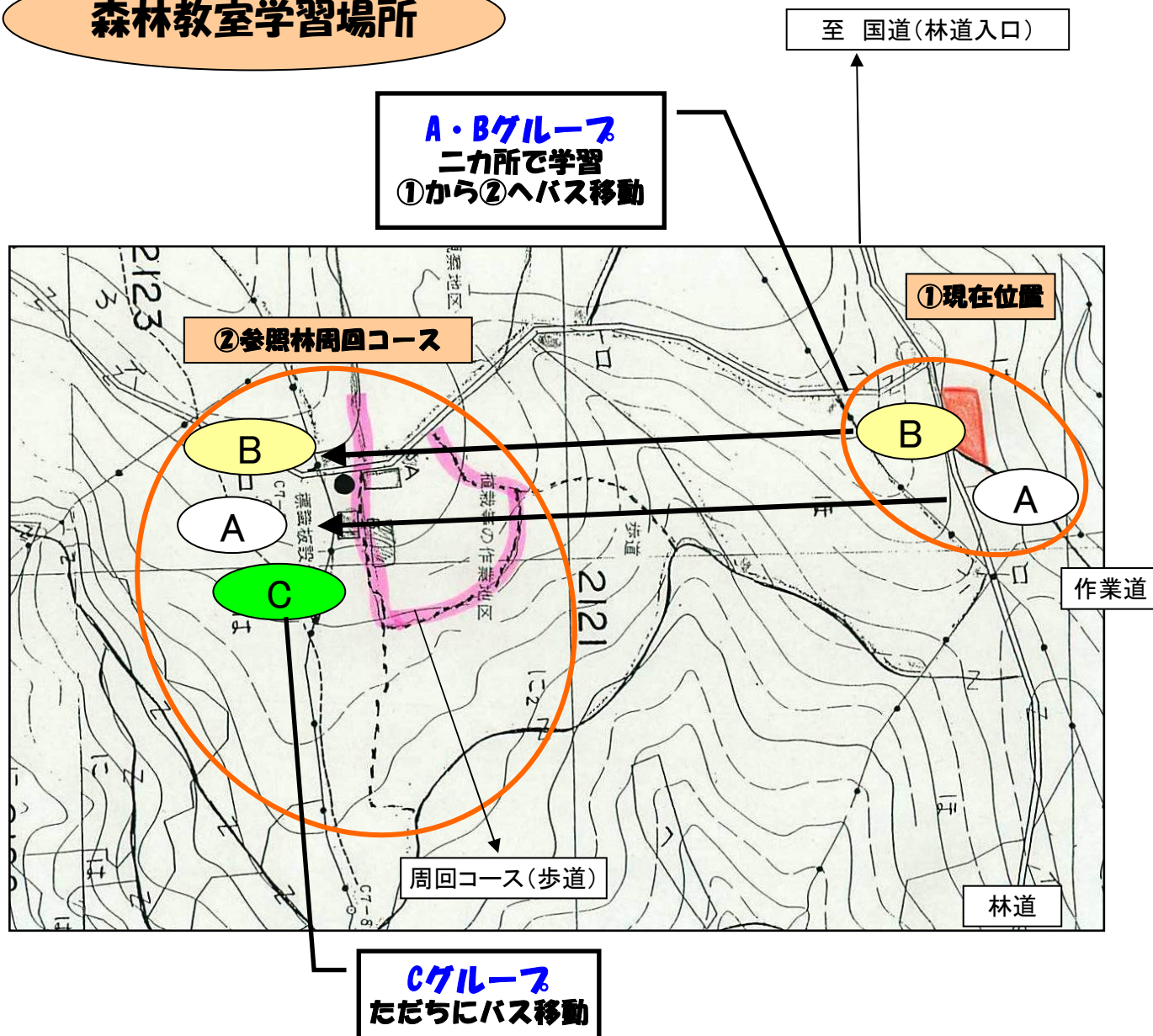
もりづくり活動位置



グループ分け

3コース3グループ					
グループ		テーマ			石狩FC
A	動物グループ	ほ乳類の自動撮影調査	平川講師	(一條)	(森本)
B	昆虫グループ	地表性昆虫について	上田講師	(板垣)	(松本)
C	菌類グループ	木の病気とキノコ	山口講師	(春木)	(佐藤)

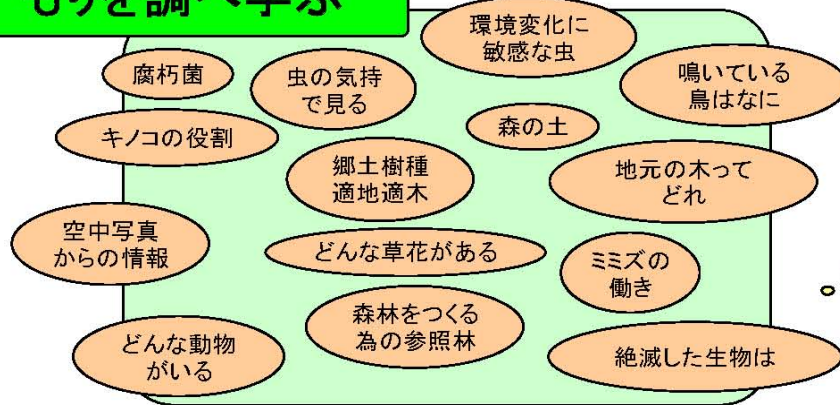
森林教室学習場所



《定山溪のもりづくり活動のイメージ》

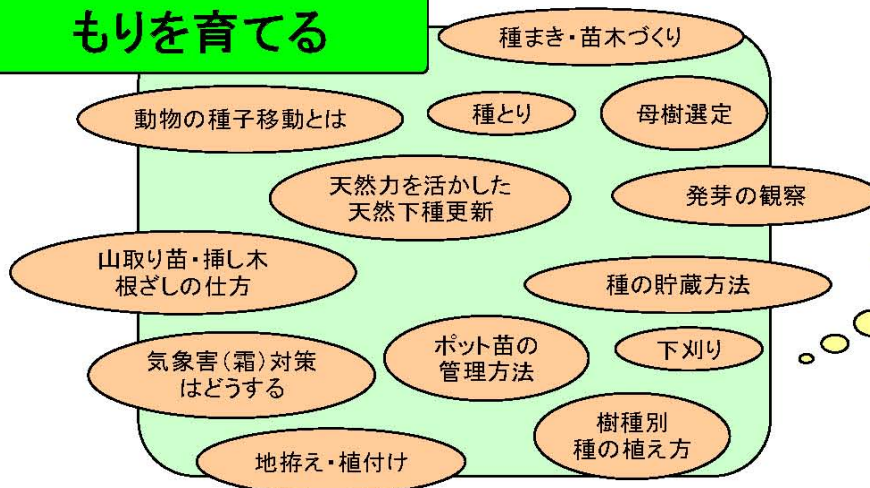
専門家(研究者)が指導 バックアップ

もりを調べ学ぶ



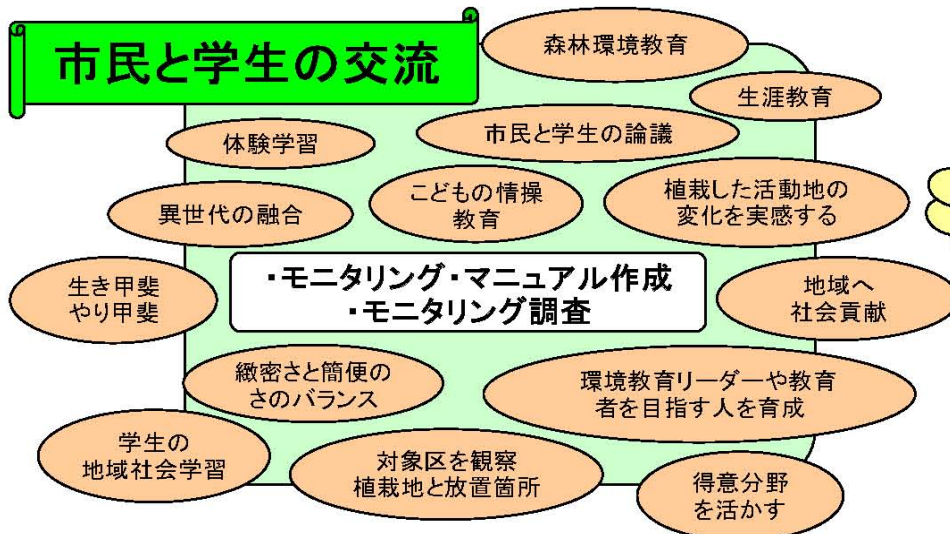
調査
観察

もりを育てる



体験

市民と学生の交流



融合

平成22年度森林教室年間計画

1 概要

札幌市民の水瓶、定山溪国有林で地域に根ざした取組み、地域のもりから学ぶ「森林づくり」や森林の調査観察、森林生態系(森林の生物多様性)を学ぶ活動を市民とおこないます。

2 内容

市民や森林ボランティア団体と連携して定山溪国有林において市民や小・中学校の参加を得て種まきなどのもりづくり活動や森林環境教育として森林の生態、森林の生物多様性を学ぶ森林教室や森林の有する公益的機能や重要性などについて普及啓発をおこないます。

また、実生から苗を育成し植栽後、市民、NPO、専門家などと将来、市民簡易調査マニュアルを作成し、もりづくり活動地域で市民モニタリングをおこない植栽木や各生物の経年変化や結果を評価・検証することで森林の生物多様性について理解を深めてもらいます。

平成22年度は、森林教室四回(子供版三回、大人版一回)実施します。

3 日程・活動内容

第一回森林教室 7月5日 月曜日 10時～12時 (2時間)	「大人版 空中と地上から森林の生物多様性を学ぶ」 《もりづくり活動地・周辺で学習》 一般市民を対象にもりづくり活動地とその周辺で、森林の生物多様性を観察し森林への理解を深める。 ・場所 定山溪国有林「水源の森」地域 2115、2121林班 ・対象 市民、ボランティア団体
第二回森林教室 7月15日 木曜日 10時～12時 (2時間)	「こども版森林環境教育 空中と地上から森林を学ぶ」 《もりづくり活動地・周辺で学習》 小中学校の総合学習の一環として森林づくり活動地とその周辺で森林機能、森林づくり及び森林の生物多様性を観察し学習する。 ・場所 上記と同じ ・対象 定山溪小学校・定山溪中学校の生徒、PTA
第三回森林教室 9月30日 木曜日 10時～12時 (2時間)	「こども版森林環境教育 植物の種を学ぶ」 《もりづくり活動地・周辺で学習》 小中学校の総合学習の一環としてもりづくり活動地とその周辺で郷土樹種の種類、それぞれの特徴や違いなどについて学ぶ。 ・場所 上記と同じ ・対象 定山溪小学校・定山溪中学校の生徒、PTA
第四回森林教室 10月29日 金曜日 10時～15時 (2時間×午前・午後2回)	「こども版森林環境教育 種植え」 《学校の教室で学習》 小中学校の総合学習の一環としてそれぞれの学校で郷土樹種の種を播種し学校等で苗を育成する、こども版の体験もりづくり活動をおこなう。 ・場所 定山溪小学校、定山溪中学校 ・対象 定山溪小学校・定山溪中学校の生徒、PTA

4 主催

北海道森林管理局 石狩地域森林環境保全ふれあいセンター

5 協働団体・機関

- ・定山溪小学校 ・定山溪中学校 ・定山溪連合町内会 ・みずもり会議
- ・定山溪山野草の会 ・社団法人 定山溪観光協会 ・定山溪温泉旅館組合
- ・NPO法人 森林遊びサポートセンター ・NPO法人 水と湯の里(湯森人)
- ・北海道大学大学院 地球環境科学研究院 ・技術士事務所 森林航測研究
- ・北海道教育大学教育学部付属小学校
- ・(独)森林総合研究所北海道支所
- ・(独)森林総合研究所 林木育種センター北海道育種場

6 講師

土壌、植生相、森林生態系

北海道大学大学院 地球環境科学研究院

准教授 春木 雅寛

菌類相、歩行性甲虫相(昆虫)、野生動物相

独立行政法人 森林総合研究所北海道支所

- ・ 菌類相:森林生物研究グループ 森林病理分野
チーム長 山口 岳広
- ・ 歩行性甲虫相(昆虫):昆虫分野、生物多様性
チーム長 上田 明良
- ・ 野生動物相:野生生物分野
主任研究員 平川 浩文

育種全般(母樹選定、種子採取、精選、播種、苗木育成、植栽、保育・管理まで)

独立行政法人森林総合研究所 林木育種センター北海道育種場

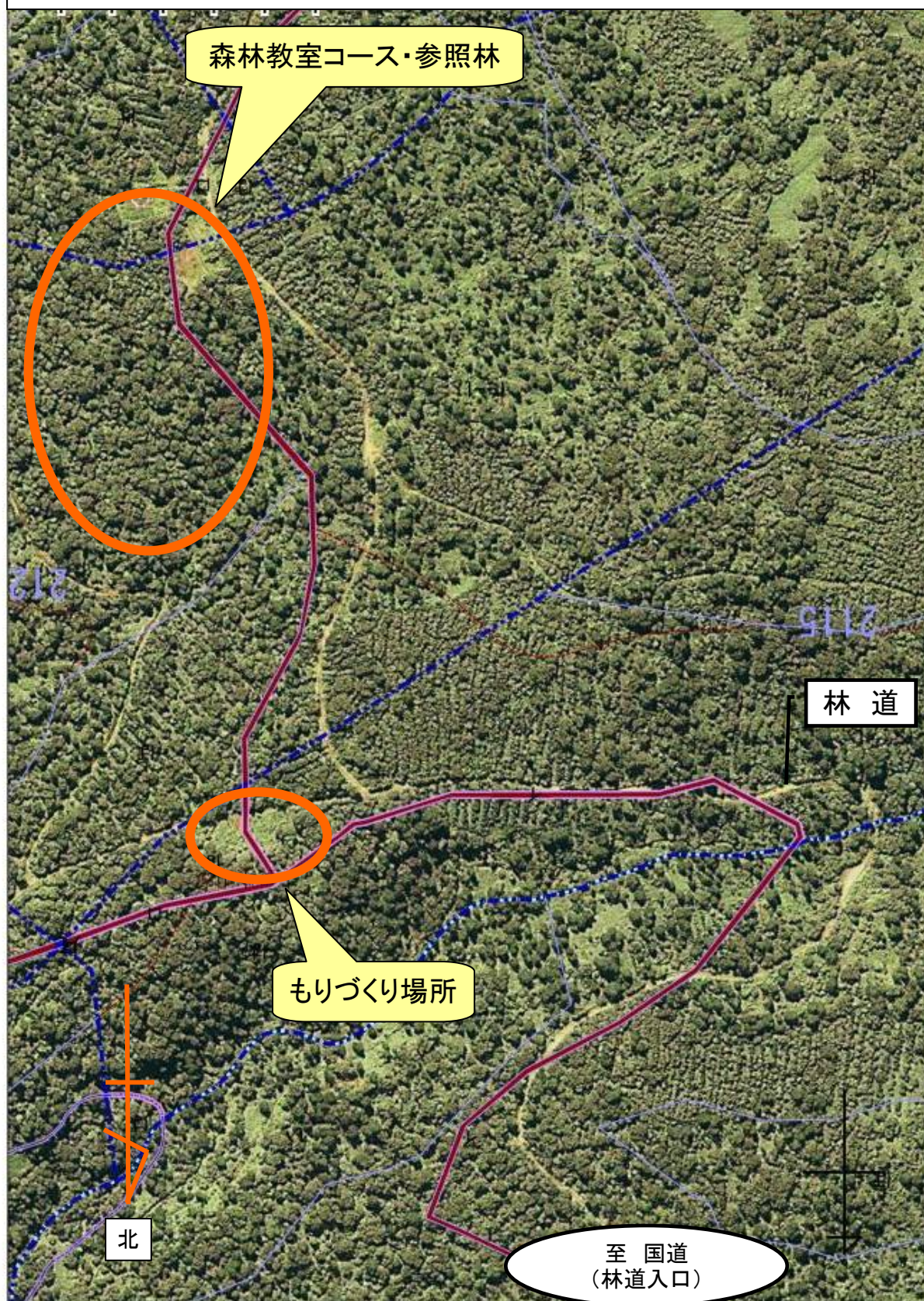
遺伝資源管理課長 高倉 康造

森林空中写真

技術士事務所 森林航測研究 代表 板垣 恒夫

空中から見たもりづくり活動地

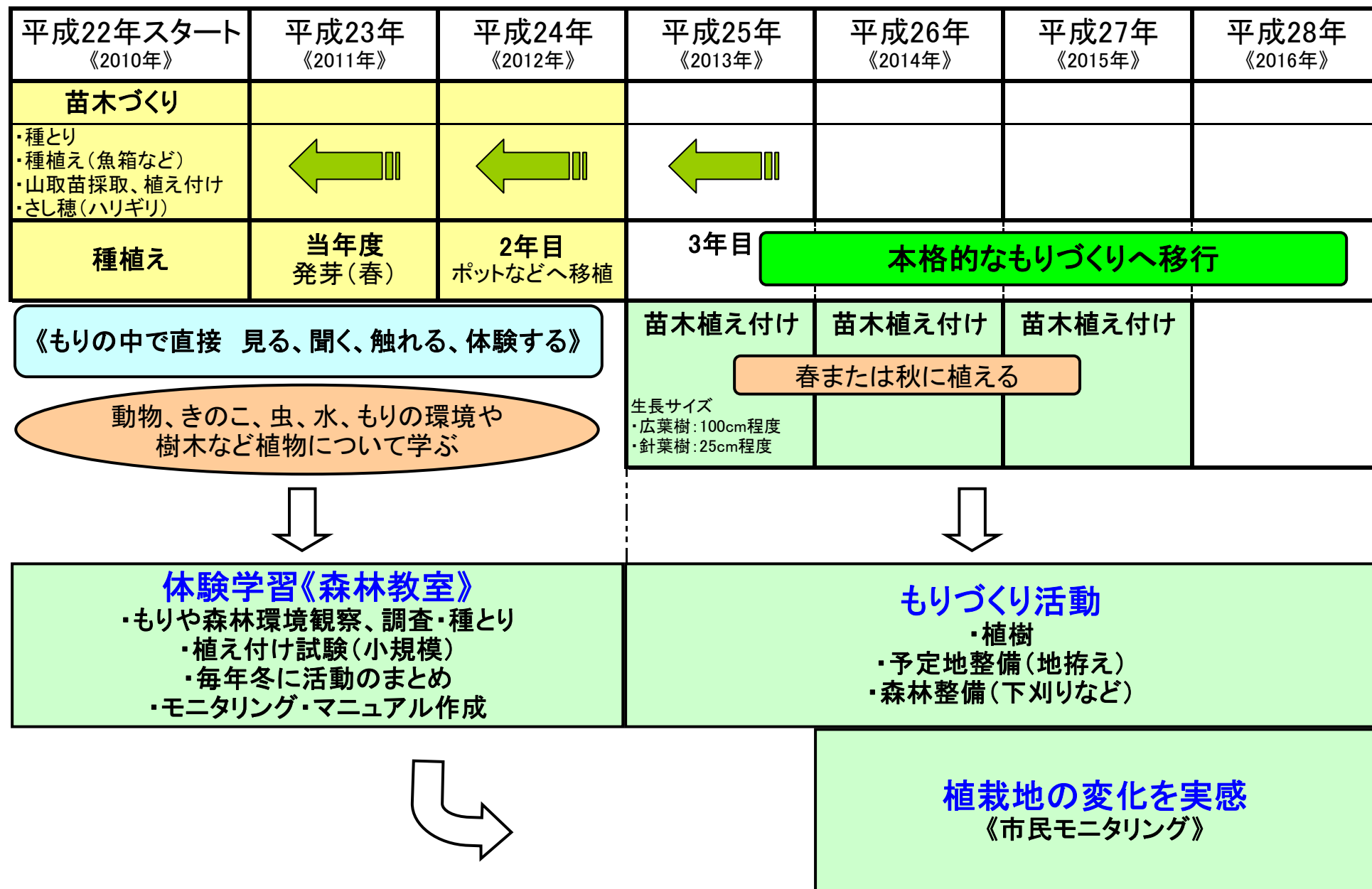
空中写真 1/5,000



もりづくり活動の概要

森林の生物多様性を実感しよう！

イメージ



もりづくり予定地

参照林周回コース



もりづくり予定地(笹地)



もりづくり予定地(土場跡地)

もりづくり場所

写真撮影日：平成22年6月15日 晴れ
・標高 730~740m
・定山溪温泉より24km
・主な樹種：エゾマツ、トドマツ、
ミズナラ、ハリギリ、ダケカバ、
シラカバ、キハダ



エゾマツを中心とした針広混交林

場所 定山溪国有林「水源の森」地域

500m

「森林の生物多様性を学ぶ」 参照林周回コース

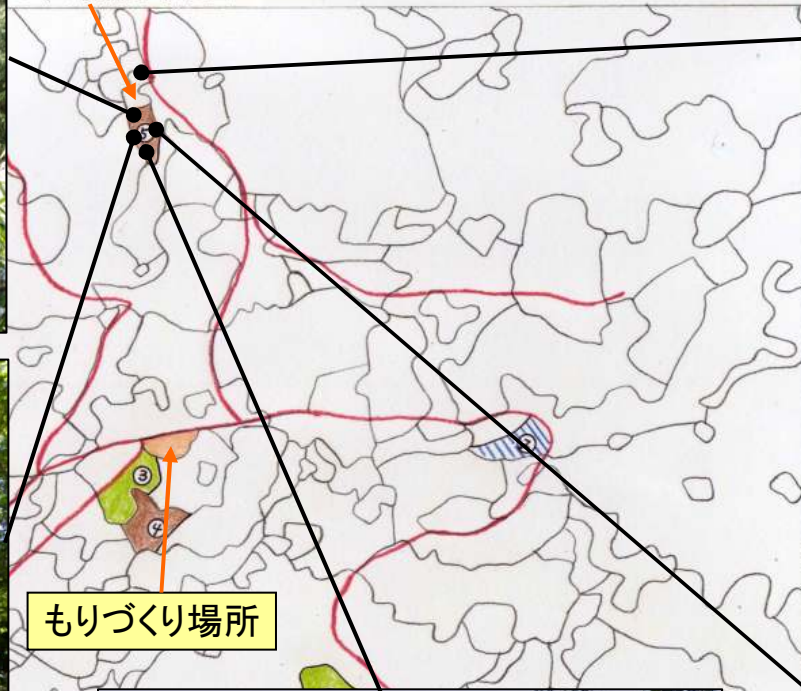


エゾマツ兄弟



針広混交林

参照林周回コース



もりづくり場所

もりづくり候補地 位置図

活動場所(土場跡)	
①	広葉樹密林(ⅢL密H3)
②	針葉樹中林(ⅢN中H3)・エゾマツ天然林
③	広葉樹密林(ⅢL密H3)
④	針過混交林(ⅢM密H3)・エゾマツ>トドマツが上層木
⑤	針広混交林(ⅢM密H3)
⑥	針葉樹密林(ⅢN密H3)・トドマツ>エゾマツ天然林
ⅢL密H3:複層林・広葉樹林・密林・上層木樹高17mを超える林分	



森の巨人(ミズナラ)



エゾマツ巨木



頭を出すエゾマツ